

大引受パイプジャッキ  
性能試験成績書

ホリー株式会社

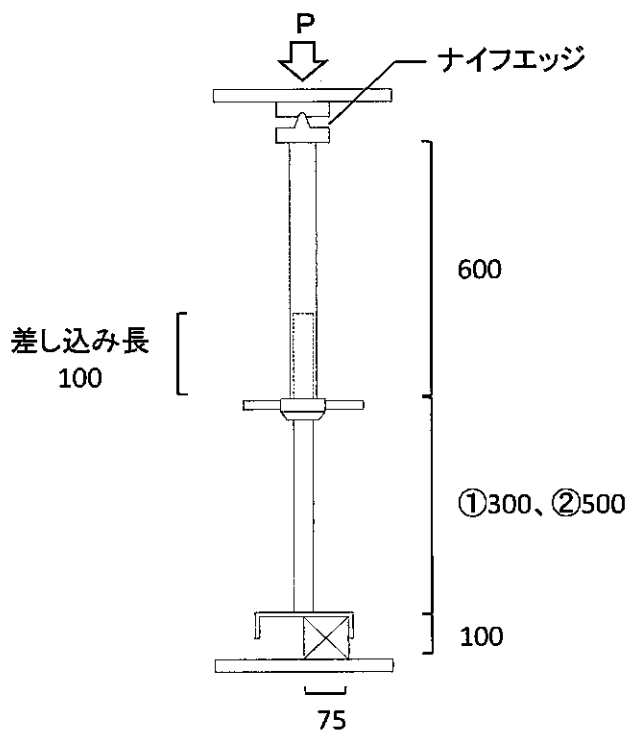
平成29年2月28日

# 大引受パイプジャッキ性能試験

ホリー株式会社 技術開発部

責任者	担当者
	吉田

1. 供試体の種類及び数量 ①大引受パイプジャッキ+Φ48.6×2.6t ×3試験  
②大引受パイプジャッキロング+Φ48.6×2.6t ×3試験
2. 試験実施日 平成29年2月27日(月)
3. 試験場所 ホリー(株) 群馬工場
4. 試験方法 下図の通りとする。



## 5. 試験結果

### 強度試験結果

#### ①大引受パイプジャッキ(シャフト全長:400mm)

試験No.	試験No. 1	試験No. 2	試験No. 3
Pmax (kN)	67.99	61.81	62.54
Pmax時の変位量 (mm)	6.24	6.24	6.28

#### ②大引受パイプジャッキロング(シャフト全長:600mm)

試験No.	試験No. 1	試験No. 2	試験No. 3
Pmax (kN)	40.72	38.90	40.00
Pmax時の変位量 (mm)	6.56	6.78	6.02

## 6. 許容荷重の算出

本試験結果をもとに、それぞれの製品に偏芯荷重をかけた場合の許容荷重を算出する。  
 なお、許容荷重は、強度試験結果のうち最大荷重が最も低い値に対して安全率を考慮した値とし、  
 安全率については、一般社団法人仮設工業会で用いられる 2.15 を使用するものとする。

### ①大引受パイプジャッキ(シャフト全長400mm)の許容荷重

$$\begin{aligned} \text{許容荷重} &= 61.81 \text{ kN} \div 2.15 \\ &= 28.7 \text{ kN} \end{aligned}$$

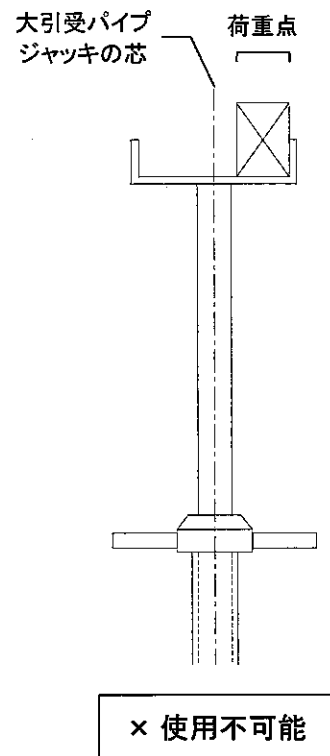
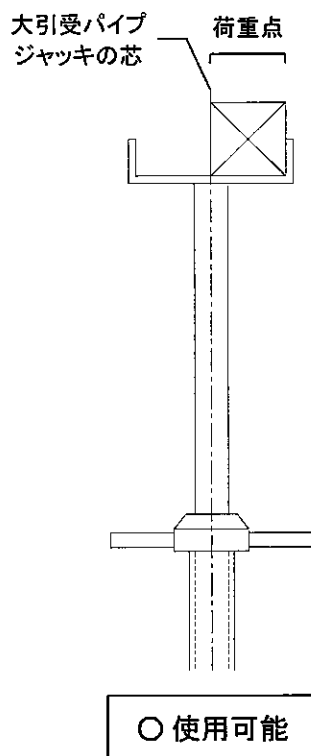
### ②大引受パイプジャッキロング(シャフト全長600mm)の許容荷重

$$\begin{aligned} \text{許容荷重} &= 38.90 \text{ kN} \div 2.15 \\ &= 18.0 \text{ kN} \end{aligned}$$

	大引受パイプジャッキ (シャフト全長400mm)	大引受パイプジャッキロング (シャフト全長600mm)
許容荷重	28.7 kN	18.0 kN

但し、荷重点が大引受パイプジャッキの芯を通らない場合は、別途強度試験を実施のうえで許容荷重を算出する必要がある。

また、本製品の使用にあたっては、本製品の許容荷重以下で使用することに加え、本製品を取り付けるもの(支保工等)の安全性も確認のうえで使用すること。



6. 試験写真



大径受パイプジャッキ性能試験

試験No.1 試験前



大径受パイプジャッキ性能試験

試験No.1 試験後

Pmax 67.99 kN  
変位置 6.24 mm



大径受パイプジャッキ性能試験

試験No.2 試験前



大径受パイプジャッキ性能試験

試験No.2 試験後

Pmax 61.81 kN  
変位置 6.24 mm





大引受パイプジャッキ性能試験

試験No.3 試験前



大引受パイプジャッキ性能試験

試験No.3 試験後

Pmax 62.54 kN  
変位置 6.28 mm



大引受パイプジャッキロング性能試験

試験No.1 試験前



大引受パイプジャッキロング性能試験

試験No.1 試験後

Pmax 40.72 kN  
変位置 6.56 mm





大引受パイプジャッキロング性能試験

試験No.2 試験前



大引受パイプジャッキロング性能試験

試験No.2 試験後

Pmax 38.90 kN  
変位置 6.78 mm



大引受パイプジャッキロング性能試験

試験No.3 試験前



大引受パイプジャッキロング性能試験

試験No.3 試験後

Pmax 40.00 kN  
変位置 6.02 mm